

東電原子力災害の「復興」： 「日本再生」とは



福井ともき

概要

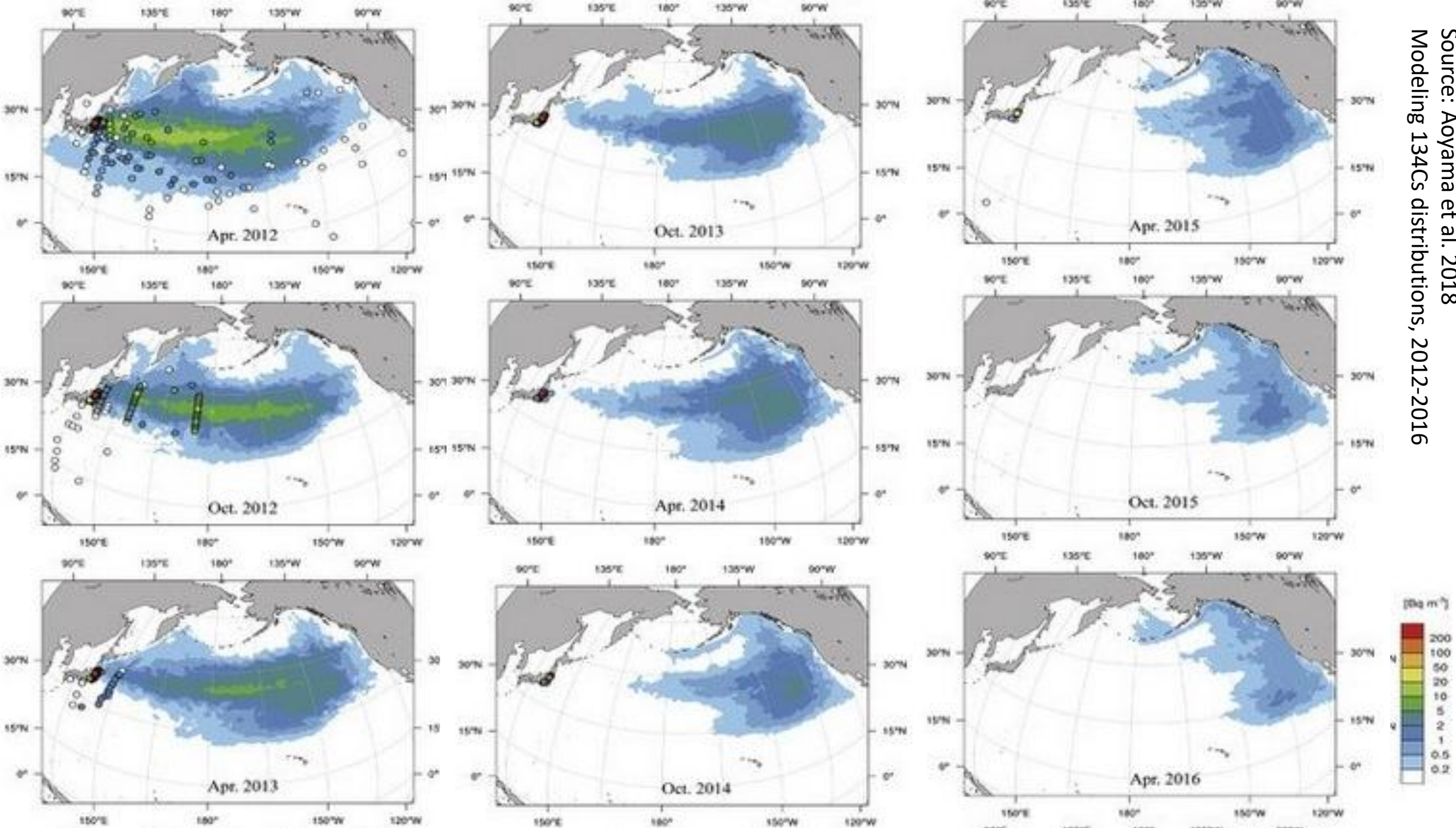
1. 復興概要
2. 災害と略奪による蓄積
3. 核帝国主義（核の傘）
4. （もう一つの「双葉郡」）

福島のセシウム、北回りで日本へ環流 海洋調査データ発表

2021年11月10日 16時00分 (11月10日 16時00分更新)



Source: Aoyama et al. 2018
Modeling 134Cs distributions, 2012-2016



Source: Aoyama et al. 2022, "Fukushima-derived radiocesium in the western subarctic area of the North Pacific Ocean, Bering Sea, and Arctic Ocean in 2019 and 2020"

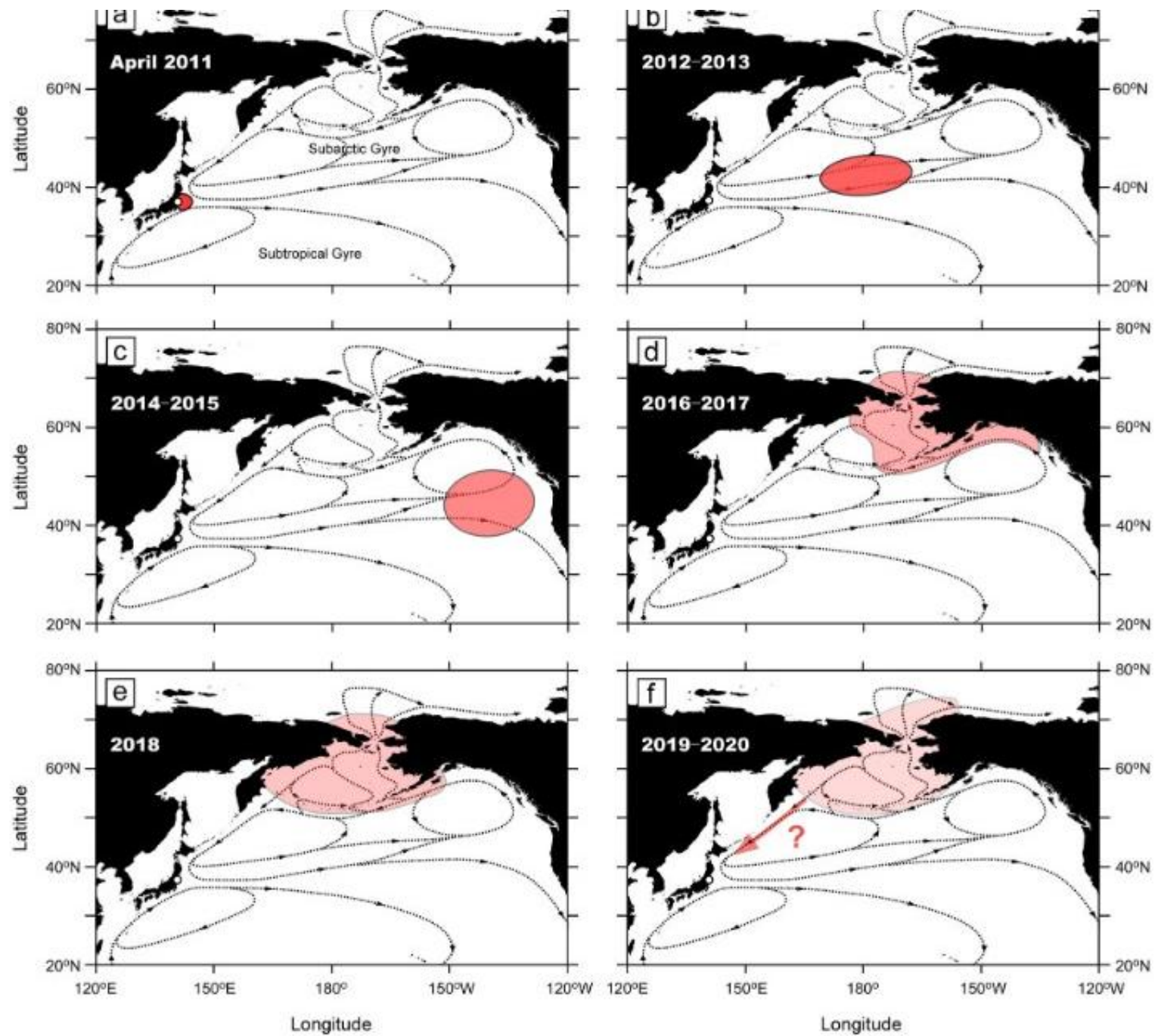
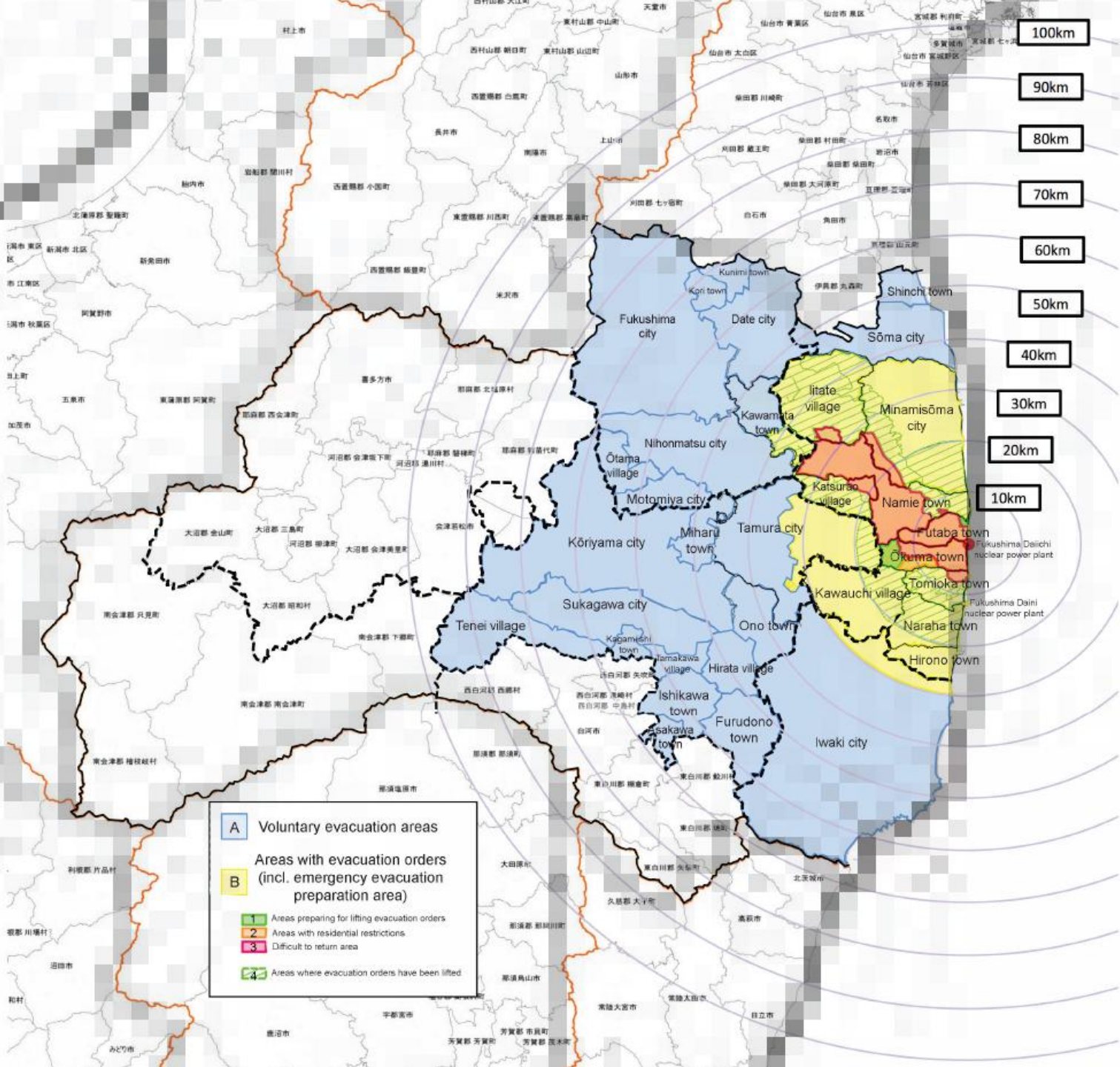


Fig. 3. Schematic views for the transport of the FNPP1-derived radiocesium in the surface layer of the North Pacific and its adjacent seas in the past decade.



2018年時点 避難区域

復興：傾向

- 2011年8月4日 原子力安全委員会：避難指示解除基準、年間20mSv
「長期的に1ミリシーベルト」
(強い反対により12月まで再検討)
- 2011年9月30日 緊急時避難準備区域 解除
- 2011年12月16日 事故収束宣言 (野田政権)
• 避難指示解除が急速する
- 2011年12月26日 原災本部が警戒区域を解除・避難区域見直しを発表
• 年間20mSv以下：避難指示解除準備区域
• 伊達市・南相馬市各地のみ、年間20mSvを基準に避難指示解除
- 2012年11月27日 福島県総合計画「[ふくしま新生プラン](#)」
• 2020年度まで避難者数を0に

復興：傾向

2013年 自民党政権・財務省・復興庁による復興加速化
主に2014年以後、避難指示解除が相次ぎ、補償・賠償の打切り

2015年 更なる復興加速提言
被災者の「自立」・イノベコースト構想の具体化・常磐線前線開始計画

2017年—2018年にその実現：補償・賠償の打切り・福島県による避難者追い出し裁判の始まり・廃炉作業員の危険手当削減・帰還困難区域の飯舘村長泥地区の「ミニ復興拠点」整備計画など。

復興PR

「ふくしま農林水産物安全・安心メディア発信研究会」

ご参加者名簿 (第1回 平成24年5月22日(火))

福島民報社	広告局	██████████	██████████	様
福島民友新聞社	広告局	██████████	██████████	様
福島リビング新聞社	代表取締役社長		田中伸宜様	
福島テレビ	営業局	██████████	██████████	様
福島中央テレビ	福島支社	██████████	██████████	様
福島放送	福島支社	██████████	██████████	様
テレビユー福島	営業局 営業部	██████████	██████████	様
ラジオ福島	営業局 営業部	██████████	██████████	様
FMふくしま	福島支社	██████████	██████████	様
福島県 知事直轄	広報課	主幹兼副課長	吾妻 嘉博	
福島県 知事直轄	広報課	主査	小島 哲	
福島県 商工労働部	観光交流局	観光交流課 主幹	石本 仁	
福島県 農林水産部	農産物流通課	部参事兼課長	吉田 肇	
福島県 農林水産部	農産物流通課	主幹	飯田 純也	
福島県 農林水産部	農産物流通課	主任主査	鈴木 裕	
福島県 農林水産部	農産物流通課	主任主査	小椋山 厚	
福島県 農林水産部	農産物流通課	主査	寅磐 進	
福島県 農林水産部	農産物流通課	主査	渡邊 耕史	
福島県 農林水産部	農産物流通課	主査	二階堂 英行	
福島県 農林水産部	農産物流通課	副主査	井戸 愛	

「長野県で出版されている「たあくらたあ」という素晴らしい月刊誌が、根気よく情報開示請求を繰り返したことで、2011年から2018年の7年間の間に、国と福島県が広告会社「電通」に248億円も支払っていたことが突き止められた。なかでも環境省が一番のお得意さまで、電通に支払われた総額のほぼ半分にあたる額を負担し、除染や瓦礫除去よりも、その努力を「伝えること」に費やしていることがわかる。そこでの方針は、人々の暮らしの「安心・安全を取り戻す」こと、人々が「地域の住民としての誇りを取り戻し」、「ふるさとから離れて暮らしている住民の帰還を促すこと」だった。」

ノーマ・フィールド [「あすになっても変わらぬ事実：『福島はオリンピックどこでねえ』原発災害と新型コロナ」](#) 2020年6月25日 宮本ゆき訳

復興言説「正しい理解」

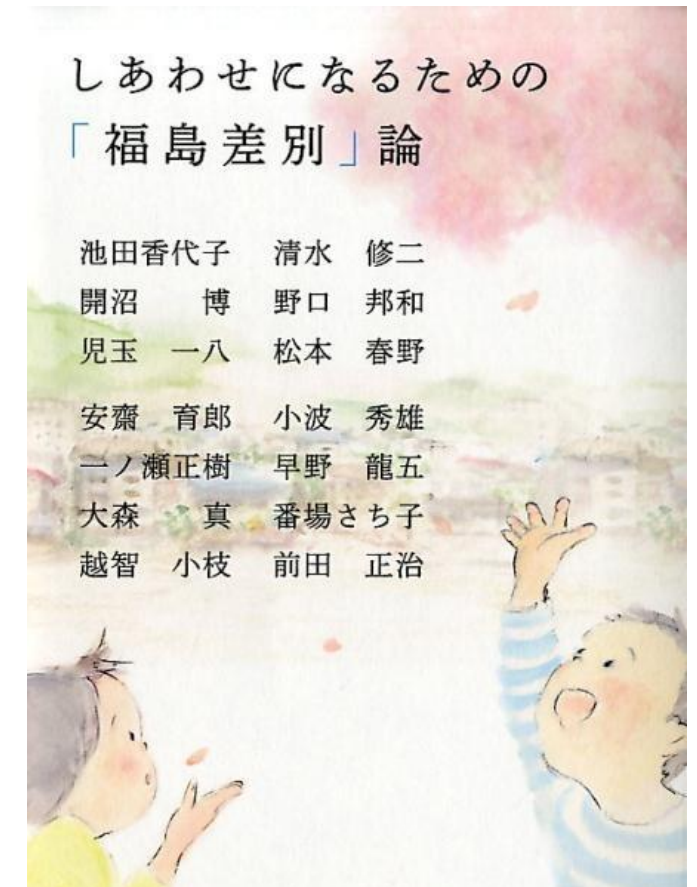


<https://apjif.org/2020/13/MutoField>

環境創造センター 2015年10月開館



復興庁「放射線のホント」
2018年3月公表



“Fukushima Discrimination” Theory: To
Become Happy (2018)

復興事業とゼネコン

2012年6月1日東京新聞

大手ゼネコンが受注した主な除染

発注者	発注額 (億円)	入札方法	事業者
南相馬市	400.0	指名企画競争	竹中工務店JV
伊達市	142.0	同	大林組、清水建設、西松建設など
広野町	64.0	同	清水建設
福島市	29.0	一般競争	大林組JV、三井住友建設JVなど
福島県	1.5	企画競争	大成建設
内閣府	81.0	公募	大成建設JV、鹿島JV、大林組JV
環境省	6.0	同	大成建設

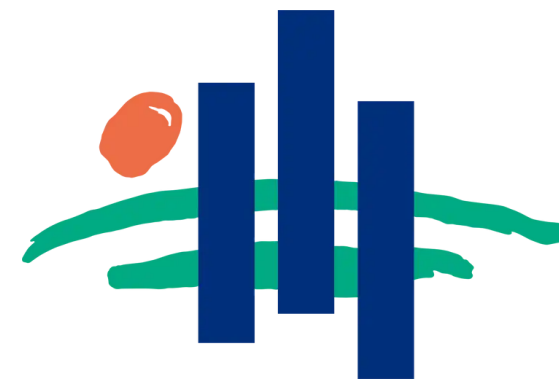
※企画競争と公募は、除染方法や技術力などで業者を選定。指名の場合は、特定の業者(今回はゼネコン)に限定。一般競争は提示額で審査する



OBUYASHI



三井住友建設



T A I S E I

災害と資本主義：
略奪による蓄積

復興と日本再生

「被災地域の復興なくして日本経済の再生はない。日本経済の再生なくして被災地域の真の復興はない。この認識に立ち、大震災からの復興と **日本再生** の同時進行を目指す。」

2011年5月10日「[復興構想7原則](#)」

「日本再生」

- 高度成長期に形成された日本経済構造：重工業製品の輸出を支えるための安価で豊富な電力供給が不可欠
 - 「地方電力会社のみならず、日本経済全体において膨大な資本蓄積の基盤を築いた。」9頁
 - 1960年代以降、石油を使用する火力発電による日本電力資本の拡大
 - 1970年時点、東電が世界中で最も大きい公益事業会社に

「評論者らは、日本の反対運動がこの危機を、原子力ロビーを特徴づける官民癒着を含め支配的な政治・経済構造を変革する機会と捉えたと指摘している。しかし経団連の企業エリート、経済産業省の官僚、そして九つの地方電力独占企業にとって、原子力のない未来とは、日本のエネルギー安全保障だけでなく、日本資本主義全体の競争力に対する深刻な脅威を意味していた。」

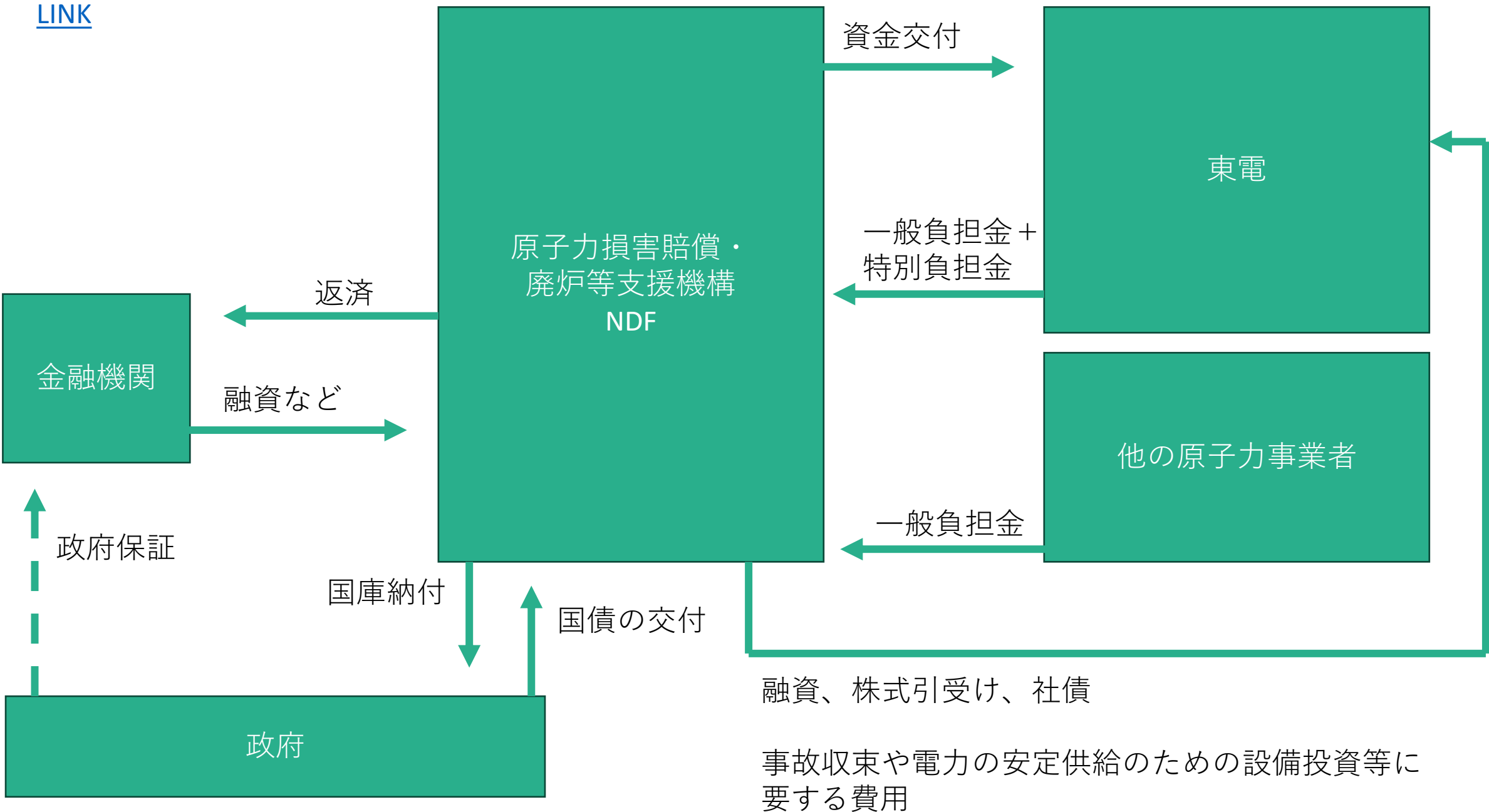
2020年ハドソン・スパイヴィ 「資本の修理を統治する」
Hudson Spivey 2020, “Governing the Fix”

2011年4月：住友三井銀行が、ウォール街の金融機関や日本の銀行、東京電力、経済産業省を含む金融機関の体表者の集まりで提案。2011年9月に設立。

「大規模な原子力損害が発生した場合に、原子力事業者の損害賠償のために必要な資金交付等の業務を行うことにより、原子力損害賠償の迅速かつ適切な実施**及び電気の安定供給等**の確保を図ることを目的として設立されました」

2011年8月の原子力損害賠償・廃炉等支援機構法に基づいて設立

[LINK](#)



原子力損害賠償・
廃炉等支援機構
NDF

東電

他の原子力事業者

金融機関

政府

返済

融資など

政府保証

国庫納付

国債の交付

資金交付

一般負担金 +
特別負担金

一般負担金

融資、株式引受け、社債

事故収束や電力の安定供給のための設備投資等に
要する費用

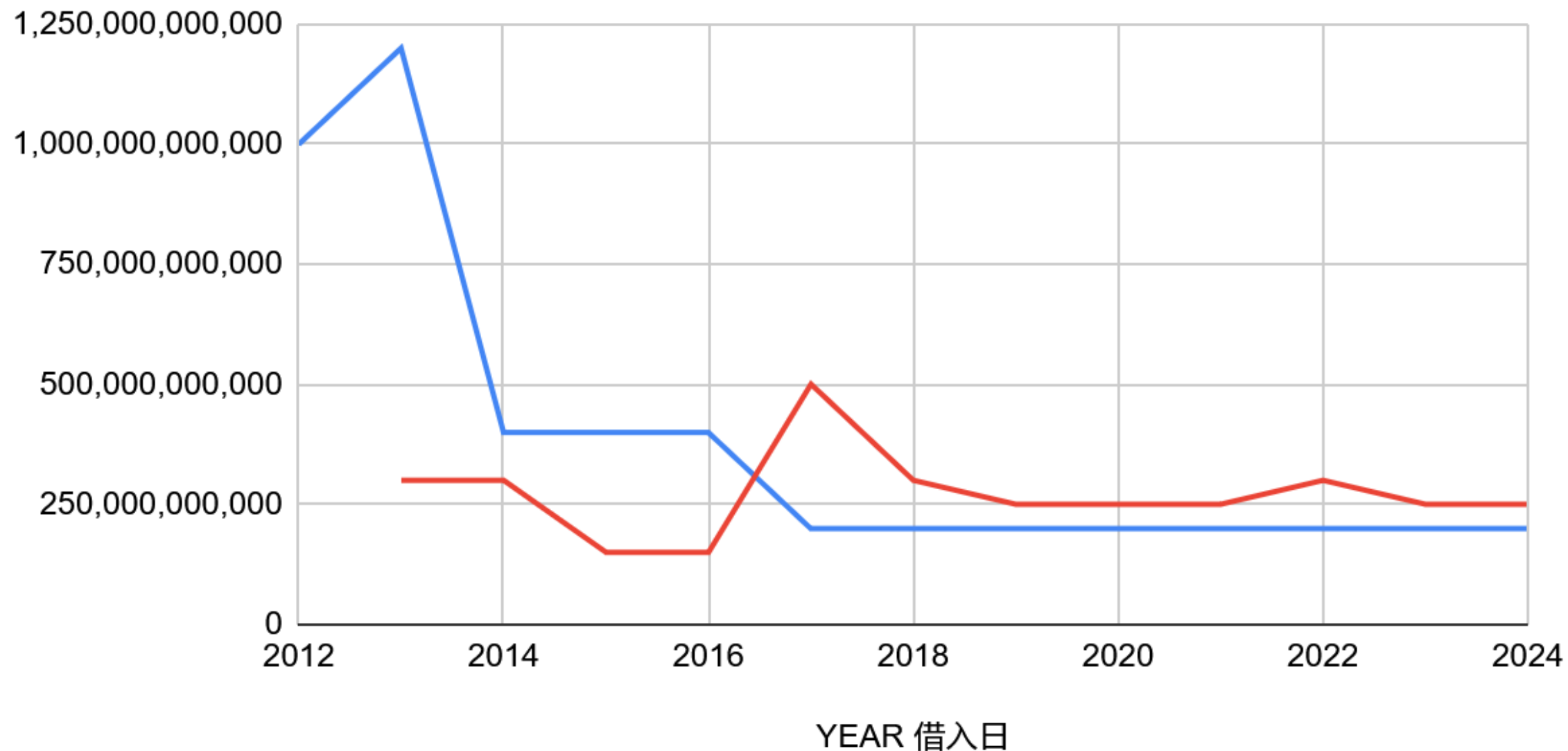
各原子力事業者の一般負担金の負担金率及び金額は以下のとおりです。

原子力事業者名	負担金率	負担金額 (年度総額)	負担金額 (賠償負担分)	負担金額 (従前分)
北海道電力	3.32%	6,466,146,000円	1,250,746,000円	5,215,400,000円
東北電力	5.48%	10,662,687,000円	2,097,887,000円	8,564,800,000円
東京電力 ホールディングス	34.70%	67,550,177,600円	22,184,277,600円	45,365,900,000円
中部電力	9.18%	17,880,591,000円	5,117,691,000円	12,762,900,000円
北陸電力	2.92%	5,675,636,800円	831,536,800円	4,844,100,000円
関西電力	20.43%	39,767,969,400円	14,555,369,400円	25,212,600,000円
中国電力	2.66%	5,174,532,600円	1,825,132,600円	3,349,400,000円
四国電力	3.98%	7,755,122,600円	2,539,722,600円	5,215,400,000円
九州電力	10.08%	19,625,192,400円	6,094,192,400円	13,531,000,000円
日本原子力発電	6.08%	11,832,121,400円	4,498,821,400円	7,333,300,000円
日本原燃	1.18%	2,305,200,000円	0円	2,305,200,000円
合計	100%	194,695,376,800円	60,995,376,800円	133,700,000,000円

[LINK](#)

NDFへの借入れ・国債

LOAN 政府保証付借入れ BONDS 政府保証債

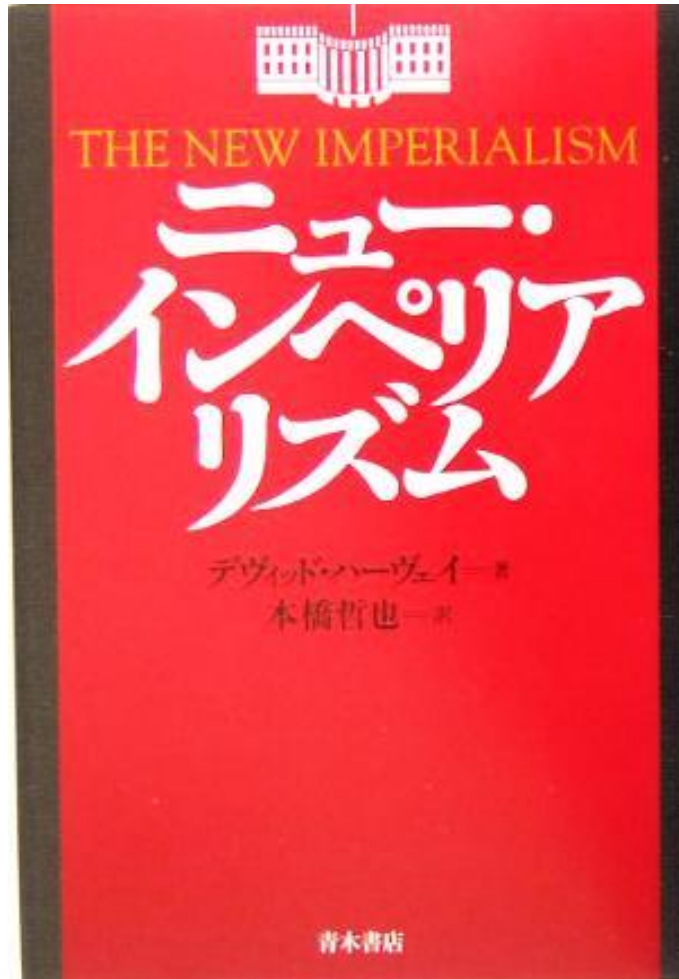


NDF

「福島問題は、企業価値を高めるにしても、最終的にはキャッシュで弁済するため、**政府も大株主として後押ししてもらわないといけない。**」

2017年3月28日、
経済産業省「東京電力改革第一問題委員会（第9回）議事要旨」

災害と資本主義：「略奪による蓄積」



略奪による蓄積

- マルクスの「資本の本源的蓄積」概念より
 - 土地の略奪（商品化・民営化）、非資本主義社会の関係性・共同性の崩壊、被略奪者たちを労働者に
 - 監視・弾圧により、国家が資本の蓄積を促進
- 資本主義の本源的期間のみならず、繰り返される危機を乗り越え資本を再生するために必要と指摘
- 危機が新しい資本蓄積の機会となる

デヴィッド・ハーヴェイ：地理学者（人文地理学・社会理論・政治経済学・批判地理学）

デヴィッド・ハーヴェイ『ニュー・インペリアルイズム：〈新たなる帝国主義〉はどこへ向かうのか？』
2005年

「略奪による蓄積」事例： 2010年メキシコ湾原油流出事故



「略奪による蓄積」事例： 2010年メキシコ湾原油流出事故

「地域の人々は具体的に象徴的にもメキシコ湾を復旧させる多大な取り組みを（自分の身で）吸収した。」

「私たちが取材したほぼ全員が、原油流出事故によって皮膚疾患、呼吸器疾患、精神疾患、あるいは慢性的な頭痛や胃の病気を患ったと主張する知人を持っていた。しかし、健康被害を訴える人々のほとんどは、BP社や州政府、連邦政府から十分な補償を受けていない。**精神的・身体的に、彼らは原油流出とその余波を自らの生活や身体に、そして商業漁師の場合は生計手段にまで吸収してしまったのである。**」

David B. Halmo, David Griffith and Brent W. Stoffle (2019) “[‘Out of Sight, Out of Mind’: Rapid Ethnographic Assessment of Commercial Fishermen's Perspectives on Corporate/State Response to the Deepwater Horizon Disaster](#)”

猪狩忠昭さん



2015年10月21日 10月21日

白血病基準「年5ミリ」超す線量

福島事故後被ばくで労災

発症元作業員、初の認定

救済には高い壁

他のがん「100ミリ」

66歳で働ききりだった!

長時間労働で過労死認定

残業月80時間超続く

いわきの下請け整備士

↑ あらかぶさんの白血病労災認定を報じた記事(2015.10.21 東京新聞)と、

↓ 猪狩さんの過労死認定を報じた記事(2018.11.5 東京新聞)

どちらも東電は「当社はコメントする立場にない」としている。



東京電力

資本金：1兆4,000億円
本社：東京都



資本金：1,000万円
本社：いわき市小名浜



株式会社 宇徳
資本金：22億円
本社：横浜市



下請けの構図

訴えの対象





構内車両整備工場 [LINK](#)

核帝国主义

核帝国主義（核の傘）と核植民地支配

- **核帝国主義（nuclear imperialism）：**

- 「核帝国主義は、現在の地政学的秩序であり、ウランへのアクセス権と核兵器開発能力を有する国家が、他のすべての国家に対して支配的な権力を握っている状態を指します。」

- 事例:

- 1940年代以降、アメリカ合衆国、イギリス、フランスがオセアニア、太平洋、およびタートル・アイランドにおいて核兵器実験を実施し、これにより地政学的優位性を確立するための手段として利用してきた。

- 科学界・メディア・政治家・産業（原子カムラ）による**正当化主義**

- 核帝国主義は**核植民地支配**なしには成り立たない：

- 「政府と企業が先住民族とその土地を標的とし、核生産プロセスを維持するための支配システム。」



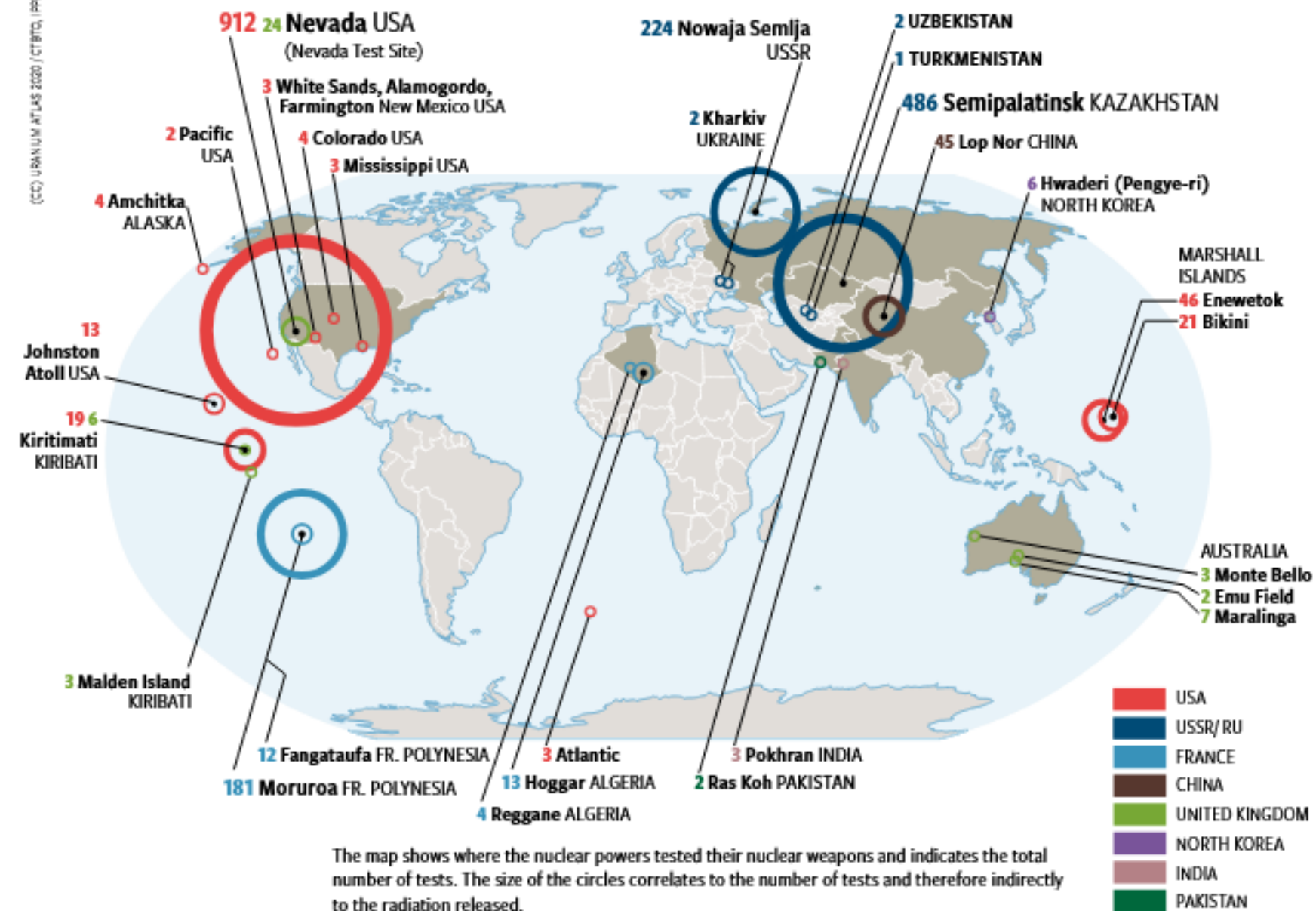
原子爆弾によって権力が
維持されるなら、植民地
支配下の人々は一生自由
になれないかもしれない。

W・E・B・デュボイス
1947年

Rehearsals for a Nuclear War

Where the nuclear powers tested their weapons

(CC) URANIUM ATLAS 2020 / CTBTO, IAEA



「核戦争の予行演習」
核所有国が核兵器実験
を行った場所

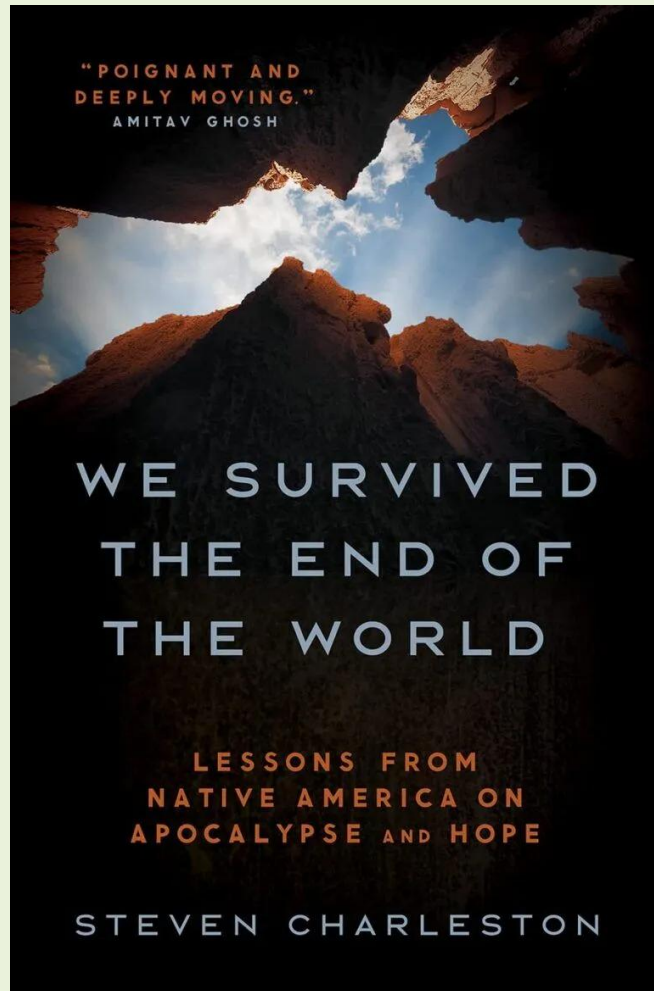
「[ウラン地図帳](#)」より

Doomsday Clock Current Time

世界終末時計現在時刻



23:58:45



『我々は世の終わりを生き延びた：ネイティブ・アメリカより破滅と希望を巡る教訓』

Source: Martin Luther King Jr., 1959 speech, quoted in Vincent Intondi, *African Americans Against the Bomb*

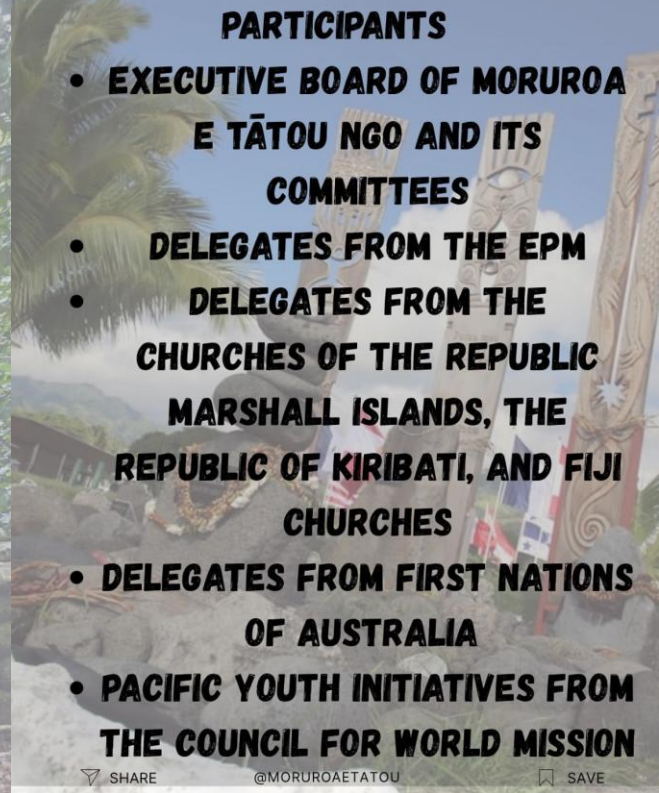
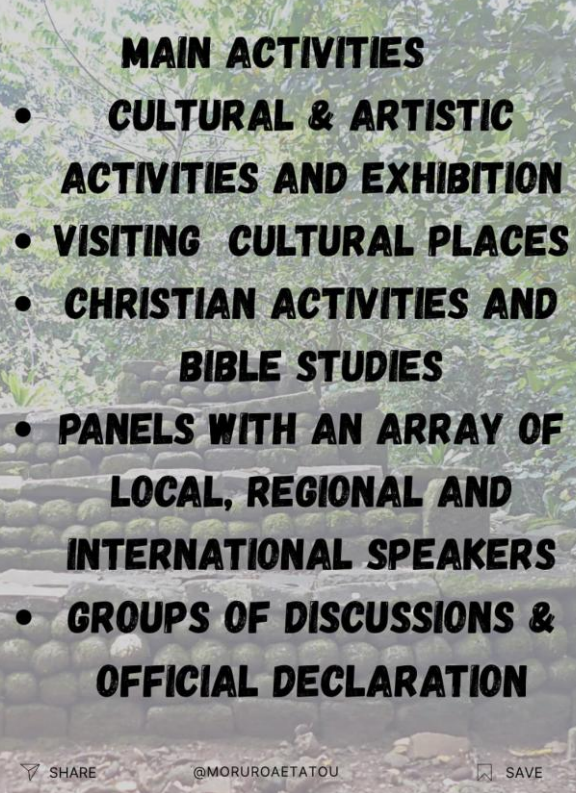


In November 1970, American Indian Movement activist John Trudell looks out over the San Francisco Bay during the Native American occupation of Alcatraz Island.

気候変動という黙示録に直面する人類は、自らの世界をほぼ完全に失った経験を持つ人々から学ぶべきことがいくつもあるかもしれない。先住民族は、今あなたが私にそうしてくださっているように、耳を傾けてくれるなら、重要なことを語ることができるのだ。文明化という使命は誤りだったと、世界のセント・ジョセフ宣教団のような試みは全て逆効果だったと、むしろ長期的にはアメリカやカナダ、いわゆる文明世界こそが、先住民の在り方にほんの少し近づくべきだったと心から信じられるなら、私たちの人間性と共同的な未来を明るく照らす道さえ開けるかもしれない。



核植民地主
義と軍国主
義の影響を
受けた他の
先住民族と
の連帯を深
めることで
、自らの民
族、祖先、
土地、そし
て海のレジ
リエンスを
称える。



核の正義・環境正義の週（モオレア、マオヒヌイ）

文化・芸術活動と展覧会

文化的場所への訪問

キリスト教関連のアクティビティ・聖書の学習会

地元・地域・国際的講演者のパネル・ディスカッション

グループ・ディスカッションと宣言

参加者

モルロア・イ・タトゥーNGO

エタレティア・ポロテタニ・マオヒ教会の代表者

マーシャル諸島共和国、キリバス共和国、フィジーの教会

オーストラリア先住民族の代表者

世界宣教評議会の太平洋諸島若者イニシアチブ

日本帝国の核兵器開発

満洲国（現在中国遼寧省・辽宁省・Liaoning Province）（3－5トン）

- 海城（かいじょう・Hǎichéng）

朝鮮半島

- 菊根鉍山（当時黄海道延白郡・現在北朝鮮黄海道延安郡・황해도연안군 Yönan County, Hwanghae Province）（1 2 0－1 5 0キロ）

ビルマ

モンゴリア

新疆（しんきょう・Xīnjiāng）

福島県

- 石川町（月5千人動員・750キロ生産）

矢島 道子 「戦時中のウラン探鉍」 2006年45巻238号96-98頁

山崎正勝 『日本の核開発：1939 - 1955 一原爆から原子力へ』

日本帝国の核兵器開発

語られない・記録されない労働者たちや住民
終戦時に日本軍による関連資料・記録の破棄

「広ばくたる南満州の小部落の中の満人農家の中にツァイスの偏光顕微鏡と屈折率測定用の標準液を準備し，連日フィールドで見出したペグマタイト露頭から採集した長石のサンプルを片端から顕微鏡分析を行ってペグマタイト岩脈中の斜長石の延長発達方向を捉えるのである」

山村礼次郎 『関東軍稀元素調査班』

矢島 道子 「戦時中のウラン探鉱」 2006年45巻238号97頁より

核帝国主義 (核の傘)



被ばくへの無関心を作り出す「核の傘」

「1950年代初頭時点で（広島）市は完全に再建され、被爆者は活気ある新参者の中で少数派となっていました。高価な記念碑が原爆で亡くなった人々を偲ぶために建てられましたが、当時苦闘していた被害者は放置されました。注目すべきは、この期間に**多くの被爆者が日雇い労働者として働いていたこと、その中でも女性が大半を占めていた**ことです。皮肉なことに、多くの女性が広島の平和公園の建設に携わっていました...**彼女らの身体は、過去を書き消そうとする「再生のイデオロギー」にとって脅威的な存在となりました。**このイデオロギーはあらゆる欠乏を「健康で活気ある者への負担」とするものでした。**このような態度は、アメリカ人からも歓迎されました。彼らは広島の「再生」の壮観な光景を、原爆の無害性、有用性のさらなる証拠と見なした**からです。」

被ばくへの無関心を作り出す「核の傘」

「松下電器産業の創業者・松下幸之助の側近で、日本への原子力導入に決定的な役割を果たした柴田秀俊は、1950年代初頭、次のように述べた。「反原子力反対派を打ち破る最良の方法は、原子力の平和利用を称賛し、これにより偉大な産業革命への希望を与えることである」「平和」を強調することで、それは「繁栄」を意味し、**原子力発電は、日本人が原爆の記憶を忘却し、アメリカの「核の傘」の庇護を受け入れるよう強制する象徴的な装置となった。**」

日本帝国の核兵器開発

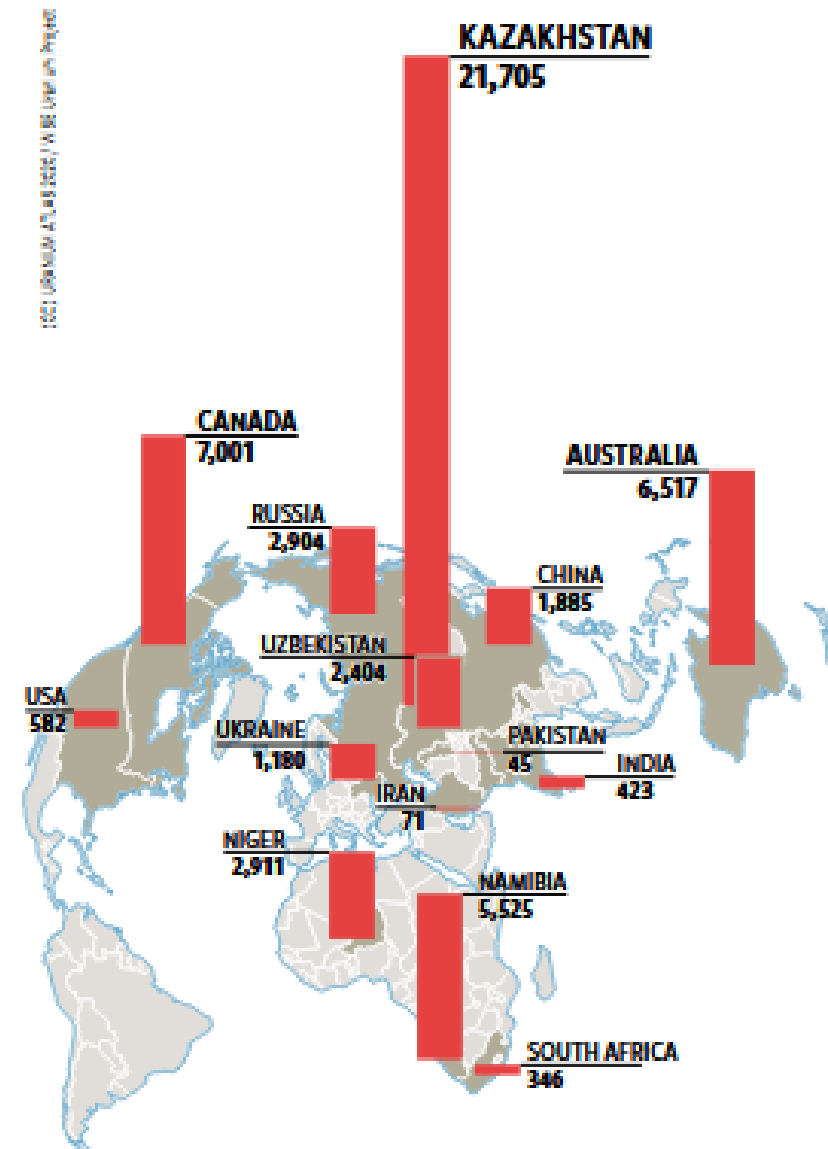
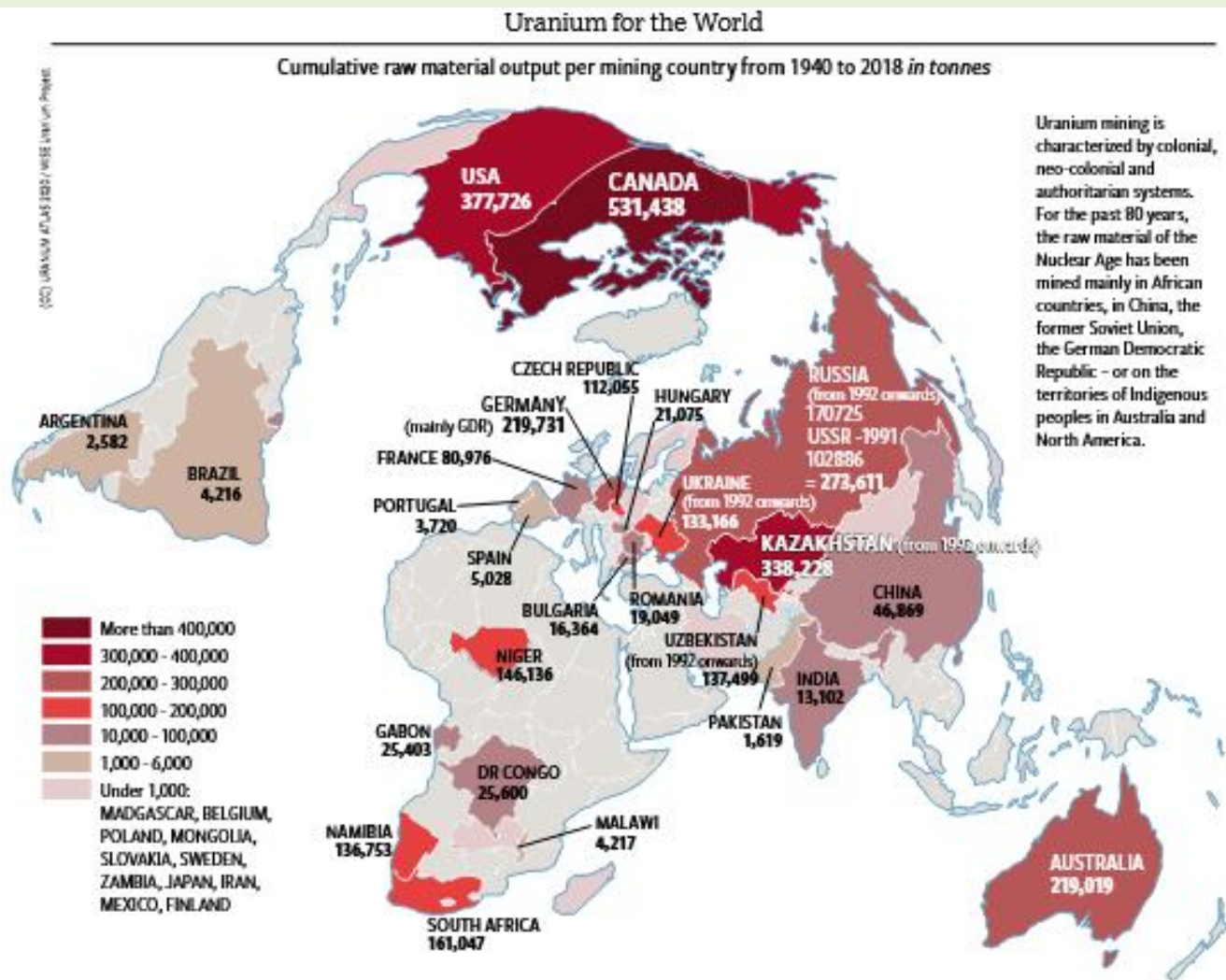
原発(地上の核施設) が地域住民の命や生活や文化基盤の上に成り立っているとすれば、ウラン鉱山(地下の核の源) は先住民達の命と生活と文化の基盤(根) の破壊の上に成り立っているのだと思います。

竹内としえ、2025年8月31日Facebook投稿

核植民地主義

ウラン供給国（2018年・トン単位）
「[ウラン地図帳](#)」より

ウラン総量（1940年～2018年・トン単位）
「[ウラン地図帳](#)」より



ウラン採掘投資

電力会社



商社



財閥

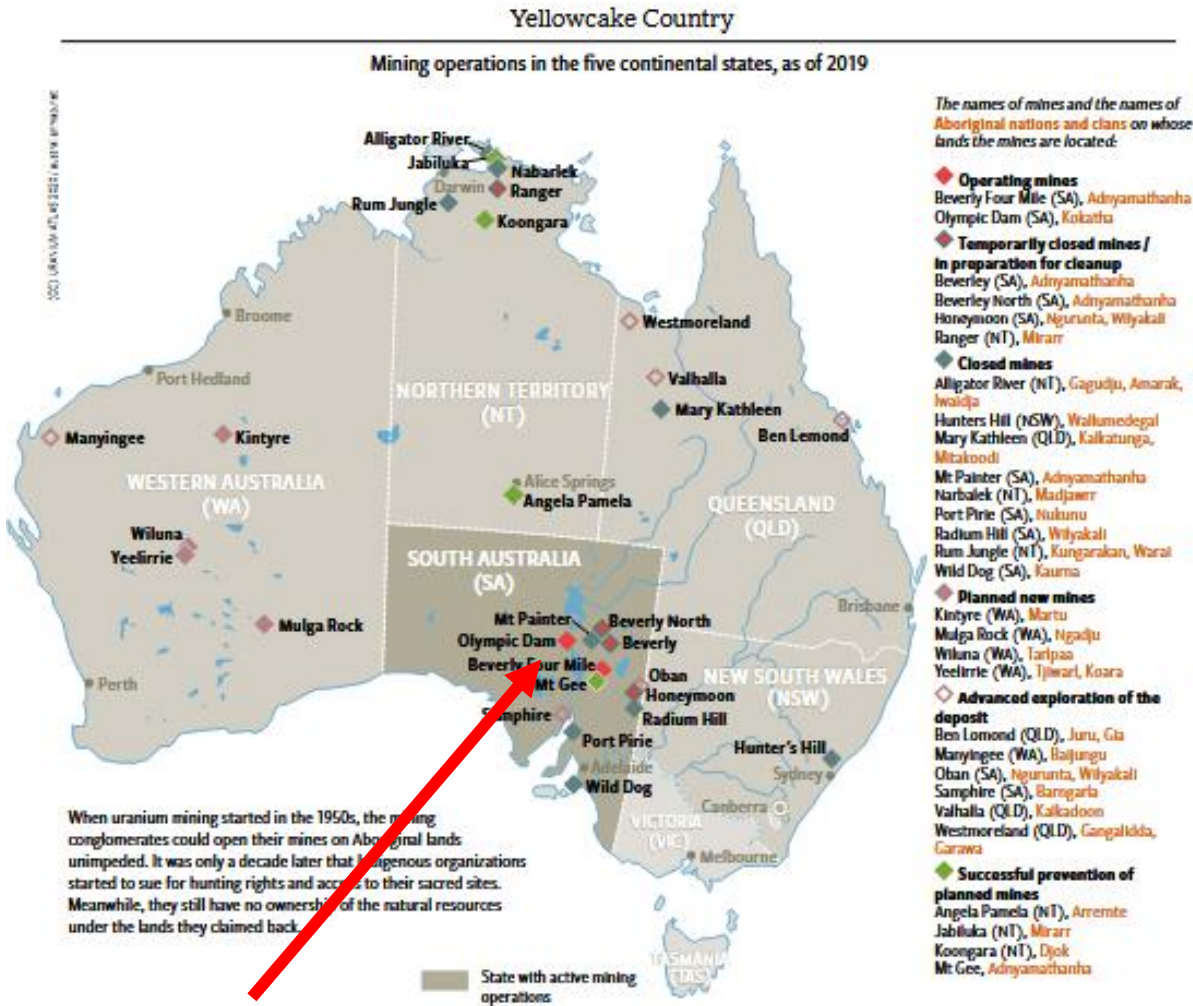


MITSUI & CO.
三井物産流通グループ

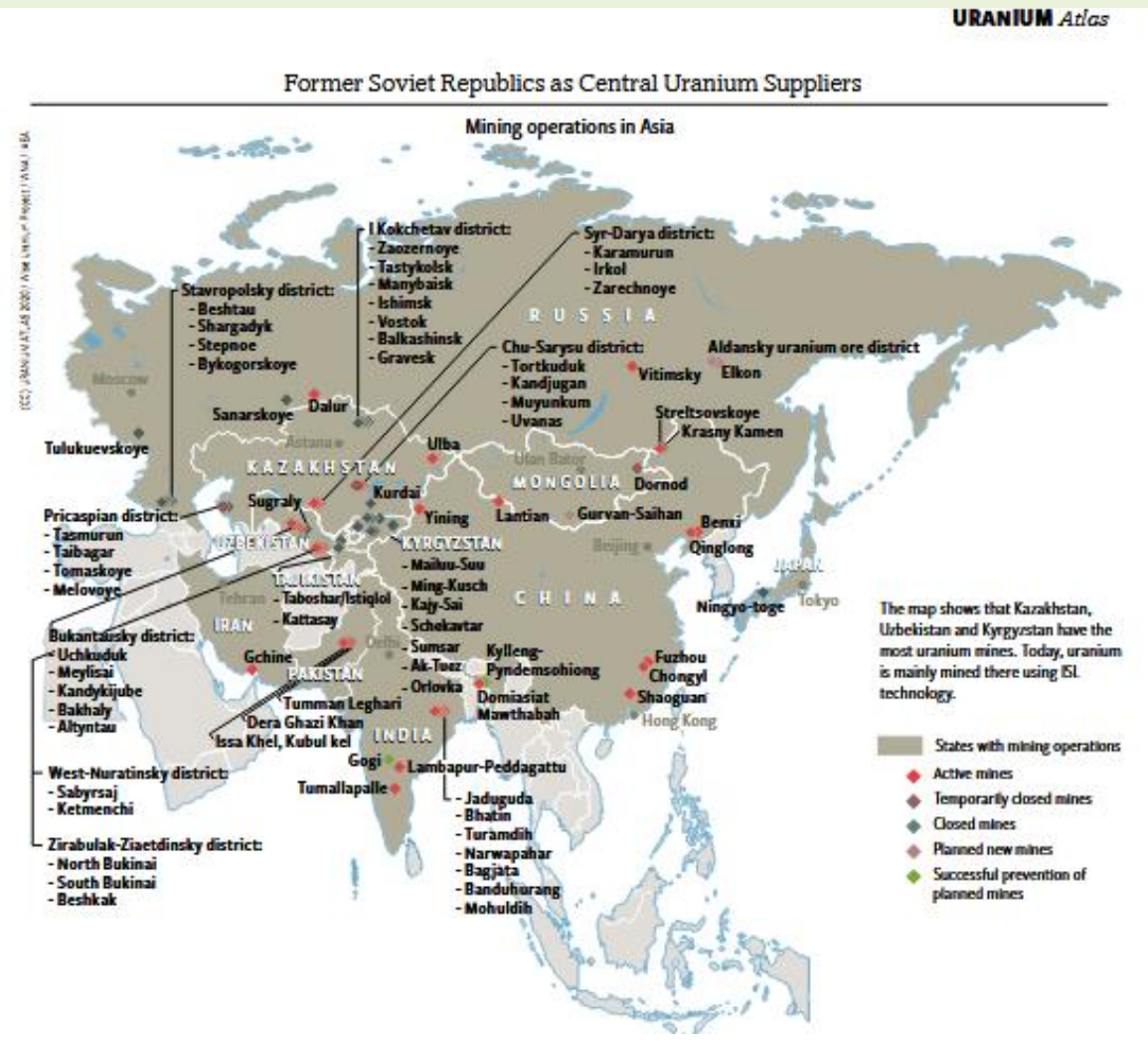


カザフスタン・ウズベキスタン・オーストラリア・ナミビアのウラン鉱山に投資。日本は主にカザフスタン・カナダ・オーストラリアよりウランを輸入

オーストラリアのウラン鉱山 (2019年時点) 「[ウラン地図帳](#)」より



アジアのウラン鉱山 「[ウラン地図帳](#)」より



カナダのウラン鉱山 「ウラン地図帳」より



戦後福島県の電力開発

- 1910年代以降、福島県で水力発電所を開発し、東京に送電。地域開発にもつながり、福島県が東北の電力供給地になる目論見
- 1930～40年代、ファシスト体制の下、電力の国家統制。東京に送電する傾向が強まる
- 奥只見電源開発計画（1946－1960）：地元で電力生産→地元企業が使える安い電力→地域開発につなげる
- 安保条約・朝鮮戦争以後見られる民主化政策の逆転・アメリカの核の傘に入る→水利権が東京電力に・京浜工業地帯への電力供給
- 火力発電・原子力発電開発→地元企業が使用できる安価な電力・地域経済の自立を望む県庁

中嶋久人『戦後史の中の福島原発：開発政策と地域社会』2014年

福島の強制連行の歴史を記憶する： 沼ノ倉水力発電所

1944年日本発送電 建設開始

1951年以降東京電力が所有 ([東電HPより](#))

- アジア太平洋戦争の敗色が濃くなり、不足する電力を増強するために建設
- 東京に送電
- 終戦後、水利権は東電に

沼ノ倉水力発電所を記憶する

福島県 強制連行者数
1万8千133人
(1944年時点)



中国殉難烈士慰霊碑の地



2025年7月3日

村人の体の動けるものは「有り人人足」という人足にかりだされ、猪苗代駅から沼之倉までの区間の除雪を行った。1メートルほど積もった雪（氷）をつるはしで崩し両脇に高く積み、**労働者が逃げられないよう誘導路を作った**そうである。

福島県中国人殉難烈士慰霊碑保存会
『星はかがやく～福島県中国人殉難烈士慰霊碑保存会設立記念誌』

福島の強制連行の歴史を記憶する

「それは戦時中のある年の秋（1944年頃）常磐炭鉱であった話である。強制的に連行された六名の同胞は腹が減って仕方がなかった。それで炭鉱の近くの畠に落ちている柿の実を拾って食べたところ、**柿の木地主は同胞が盗みを働いたと警察に知らせた。**六名の同胞は警官にひどい殴打を加えられたのち炭鉱の留置場に食事も与えられず三日間も入れられた。留置場から出された同胞は逃げる考えで深夜金氏に援助を求めてきた。金氏は旅費をやって逃がしたが、何日かののち二名が捕まり、警察署の留置場に入れられ、ひどい拷問の仕打ちをうけた。金氏も呼びだされて同胞が殴られるのを見たが、とても見ていられなかった。金氏は自分が旅費を与えて逃がしたと弁明して二日間留置され、捕まった同胞は七日間もひどい仕打ちをうけながら留置されたのであった。**落ちていた柿の実を拾って食べ、強制労働から逃げたいという理由で一〇日も留置され、ひどい仕打ちをうけたとの残酷な物語を聞いたわたしは、日本帝国主義支配者にたいし限りない憎しみを感じた。**」

박경식（朴慶植） 1965年『朝鮮人強制連行の記録』 138頁

核帝国主義の中の双葉郡

災害資本主義の結果

「人が住んでいないのに車だけ通る」

「『変わる』じゃなくて
『変えられていく』」

富岡町避難者木村ミエコさんの呟き
2019年4月



「陸軍飛行場」の次は「中間貯蔵施設」か

門馬さんの住まいの変遷



門馬力さんは今、戦前に続き2度目の土地明け渡しを求められている—宮城県石巻市で、佐々木順一撮影

庭の柿の木は、阿武隈の山陰に沈む夕日のような赤をつけ、この秋も枝がたわむほどだ。ところが、もへ人はいない。甘い実は小鳥のついでにむすまか、熟れ落ちるままか。

2011年3月の原発事故で福島県大熊町の帰還困難区域から宮城県石巻市に避難している門馬力さん(82)は昨年11月末訪ねてきた環境省職員と居間で向き合いながら、ふとそんな情景を思い浮かべた。

国は原発を囲む16平方キロの地に、除染土の中間貯蔵施設を造る。門馬さんの自宅は予定地内にある。この日は所有する田畑の面積を確認されたが、建物や家財の補償の査定にはまだ時間がかかると言われた。

国は中間貯蔵の期限を30年と定めた。小作農だった父は、門馬さんが幼い頃、借金して土地を手

生家は戦前、今の福島第1原発の敷地内、2号機建屋の西側にあった。1帯には当時、原野が広がり、沢筋には10戸ほどの農家とわずかな水田があった。集落の名は「荒戸沢」といった。両親と14人きょうだいの大所帯。小作農だった父は、門馬さんが幼い頃、借金して土地を手

憲法のある風景 公布70年の今

- 1 財産権は
- 2 財産
- 3 法律でこれ
- 4 私有

明言するが、最後の「物」は「財産」に限定され、門馬さんの土地は「物」ではない。その後は「法律でこれを定める」とある。職員は押し黙った。貼れない土地が何になる。そう割り切ったはずが、土地を明け渡さなければならぬ。門馬さんが「元のめ」の土地の明け渡しを求められるのは、これで2度目になる。



実家奪った汚染土の山

黒い土のう袋(バック)が六段重なる。その山に重なるように、木造られるように、木造らばつんと残る。一海側に目を向け、向こうに東京電力一原発(福島県大熊町)の構内に見える。

原発からわずか大熊町にある民家で生まれ育った門さん(71)と東京都一原発(福島県大熊町)の構内を見えた。

あの日から

東京新聞

中日新聞東京本社
東京都千代田区千代田二丁目1番1号
〒100-8505 電話 03(691)0101

読者とともに
紙面へのご意見
お問い合わせ
TEL 03-6910-2101
土日祝日除く9:30-17:00
FAX 03-3595-6101
TOKYO WEB
www.tokyo-np.co.jp

銀座本店六丁目並木通り
皇徳商標

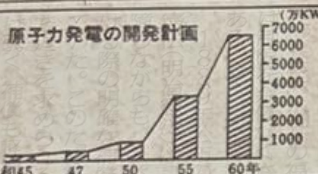
1月11日の初まで
上野の森美術館
KING QUEEN

(3) 昭和48年11月17日(土曜日)

原子力発電の安全性を問う

期待される、第三の山
不十分な安全性の

原子力発電の安全性を問う。これに公共の期待される、第三の山、不十分な安全性の...



遠藤さん（富岡町）

- 80代の強制避難者
- 成人してから34年間中東に住み、事故前
に帰国

遠藤さん（富岡町）

「開発」と言うけど、みんな壊してんだよ、これで。自然を壊している。その壊し方、俺は良く分かっているよ。...この富岡の浜に、透明なね、小っちゃい魚。この辺の方言で「カサキ」って言うんだ。それがアユの稚魚と一緒に川を上がってくるの。それがね、海の色が真っ赤に染まるほど来るの。俺が3歳の時に。10歳頃まで来たと思うよ。茹でると白魚みたいになる。それは食べられたでしょ？ここ一面は全部田んぼね。自然豊かだった。

遠藤さん（富岡町）

何も大したことやってないんだし、難しいことも言っていないんだけど。結局ね、**ありし良き日の原風景、自分にとって心の拠り所**、「ああ、こういう生活って素晴らしいな、あの頃は素晴らしかったな」で今と比較すると、今はとんでもねえ時代だな。時代のギャップをよく知っているから。

皆が全て昔に戻すつもりはないよ。だけど**どっか片隅に、100年前の何かが残っている**。一民間人で、あの辺の山間で育ったやつが外国に30年もいて、最後に死ぬ前にやったことがこれなんだ。かすかな。...こういう馬鹿な爺さんがいて、ここを残して行ったんだって。

「じゃあ、今日は富岡の郷土料理を作ろうか。あの辺の飯は上手くねえから。皆で作ろうよ。」そういう場所がね。夜も泊まったり。バスとか電車とかそんなものを気にしないで、疲れ切ったら、飲みすぎたら「もう寝ていくわ。」そういう場所を作ってあげて。そういうの、富岡にないんだわ。どこにもないんだわ。皆お金のことばかり考えて。

遠藤さん（富岡町）

雨季の時に流れる川がある。雨季の時には確かに何かが運ばれているわけ。土砂にしろ、枯れ葉にしろ、有機物が海に運ばれているわけ。そこだけ有機物があるからアサリが生息しているんだ。それは普通の人には分からないのよ。俺は海にこう、入って、渚に入って、陸の方をこう見るんだよ。川がこう、流れている。そこに行って手をギュッと突っ込むと、アサリが5つくらい出てくる。...それで、海でイカを釣って食ったり、マグロとかカツオも航海に入ってくるんだけど。...そういう**その場その場その事情に合った生き方つうのは、俺みたいな貧乏人しか分かんねえんだよ、手え突っ込んでアサリを発見するなんつうのは**。これもつながっていると思うんだよ。先祖からつながっていて、どっかに何か訳の分かんない遺伝子がつながっていると思うんだ。それは先祖に感謝する。...

なんでさあ、中東で34年もいた人間が帰ってきてあんなヤブをやってんの？普通の人には、「おめえバカじゃねえか？」って言うよ。普通の人には言うよ。そういう顔で俺のこと見るもん。そんなことじゃねえ。**おめえと俺の価値観、全然違えんだ。**

未来

おれたちの伝承館





おれたちの伝承館